

年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年4月28日
- 事業名 : 避難所運営の人材育成と支援調整のための全国ネットワークを形成する
- 資金分配団体 : 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム
- 実行団体 : 一般社団法人 ピースポート災害支援センター（PBV）

1 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
1-1) 避難所における課題の事例収集	各自治体から避難所運営計画に対する課題感や、過去の被災地から事例を収集し、避難所運営に関する課題の情報が集まっている。	・ ヒアリング地域数 / 10 地域 ・ ヒアリング数 / 6 回	2022年 3月	・ ヒアリング地域数 / 2 地域 ・ ヒアリング数 / 2 回	3
1-2) 避難所における課題の整理、分析	過去の避難所運営において発生した課題を整理し、その背景や解決方法について分析、情報整理が行われている。	・ 整理・分析された課題数 / 50 個	2022年 6月	・ 整理・分析された課題数 / 305 個	3
2-1) 課題解決のためのツールの開発	避難所運営における課題解決の促進、また人材育成に繋がるツールが開発されている。	・ ツール開発のための会議の実施回数 / 5 回 ・ 成果物の数 / 1 個	2024年 3月	・ ツール開発のための会議の実施回数 / 11 回 ・ 成果物の数 / 0 個	2

2-2) 避難所運営の知識と、支援の重要性が理解した人材育成	研修等の開催の前後にて、アンケート等で理解度が計られている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発ツールを活用した研修等の実施回数 / 6 回 ・ 開発ツールを活用した研修等の受講者数 / 120 人 ・ 開発ツールによる研修等の理解度 / 70% 	2024 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発ツールを活用した研修等の実施回数 / 0 回 ・ 開発ツールを活用した研修等の受講者数 / 0 人 ・ 開発ツールによる研修等の理解度 / 0% 	2
3-1) 避難所アセスメントシートの作成	避難所運営ガイドラインやスフィア基準に基づいた、尊厳のある避難所生活を指針とした避難所アセスメント項目をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数あるアセスメントシートの検討会の開催 / 3 回 ・ アセスメントシートの作成 / 1 個 	2024 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数あるアセスメントシートの検討会の開催 / 5 回 ・ アセスメントシートの作成 / 1 個 (要改良) 	1
4-1) ネットワーク会議体の設置	属性の違う既存団体と新規団体の参加数が増え、意見交換や合意形成の機会が作られる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク会議の開催数 / 6 回 ・ 参加団体数 / 20 団体 ・ 参加者数 / 40 名 	2024 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク会議の開催数 / 12 回 ・ 参加団体数 / 23 団体 ・ 参加者数 / 33 名 	2
4-2) 支援団体リストの作成	都道府県域や全国域で活動する団体の属性や支援分野について分類したリスト作成し、支援調整を実施できる体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援団体へのヒアリング / 5 団体 ・ 支援団体の属性や支援分野を分類したリストの作成 / 1 個 	2024 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援団体へのヒアリング / 0 団体 ・ 支援団体の属性や支援分野を分類したリストの作成 / 0 個 	1

* 進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.活動に関する報告
<p>・短期アウトカム1に関する活動</p> <p>避難生活や避難所運営に関する課題整理に取り組んでいる。当団体で災害支援活動を行った内、8地域の被災地の避難所で発生した課題を中心に抽出・整理を行っている。災害の種類や場所、発生状況等も異なるため1つの事象に課題が偏らないよう注力して作成している。原因分析含めは引き続き実行するが、現時点で整理が完了した課題の傾向やこれまでの支援経験から、自治体が避難所運営において抱えている課題や困難についていくつかの仮説を立てた。その仮説をもとに、自治体職員の視点や立場における課題や困難、担当者等の葛藤や悩みをより深く把握するため、中長期の避難所運営経験がある自治体と、被災経験のない自治体に対して、それぞれアンケート・ヒアリング調査の実施に向けて準備を行っている。</p> <p>・短期アウトカム2に関する活動</p> <p>避難所運営の人材育成に有効なツール作成に関しては、今後、課題の整理・分析結果を踏まえ決定する。随時、各連携団体等と課題整理のフレーム確認など意見交換を行い、よりスムーズな事業実施に向けて進めている。中でも「平時の研修にも、実際の避難所運営時にも、両方に活用できる」内容だとよいという意見が多く、これらを意識したツール開発を検討していく。また、近年の自然災害による広域被害の状況や今後発生し得る巨大地震等に備え、避難所の運営に関わる人材育成が急務であるため、2021年度より内閣府防災が中心となり、多様な主体間における連携・協働による「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」構築の具体化に向けた検討会が開始された。当団体からも本休眠預金事業を担当している職員が委嘱を受け、研修カリキュラム検討チームにおいて、市民のエンパワーメントを活用した地域の避難所運営を担う支援者育成に向けた内容制作や取り組みに携わっている。本事業と連動する面も多くあるため相互連携を図り、解決の具体化に向けて相乗効果を高めていく。</p>

・短期アウトカム 3 に関する活動

被災者がいち早い生活再建へ向かえるよう、避難所運営において必要な環境整備等のチェックポイントを連携団体である JVOAD 避難生活改善に関する専門委員会や保健医療福祉等の専門家の方々と共に作成した。これまで緊急期におけるアセスメントシートは各職能団体において存在していたが、“中長期”におけるアセスメントシートは存在していなかったため、新たに作成した。今回作成したものを活用し、2021 年 8 月豪雨災害で被害を受けた佐賀県で実際に使用を試みた。JVOAD と連携し、佐賀県内で県域の支援調整を行っている中間支援組織である佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）や、専門分野以外にも避難所運営や被災地支援へ積極的に取り組まれている日本レスキュー協会、さらに内閣府の避難生活支援・防災人材エコシステムの運営を担っているダイナックス都市環境研究所の職員、また被災した各自治体職員と共に各避難所をまわりアセスメントを実施した。各団体等に対し、支援調整に必要な知識や視点を現場で OJT にて実践することができた。さらにアセスメント調査のみで終わらず、確認から見えてきた課題や改善箇所などを避難所運営担当の各自治体職員等に共有し、共通認識をもった上で具体的な解決策に繋げることができた。自治体職員からもどのような視点でどこを整理すれば被災者のためになるのかが明確に分かり、職員や地域でも取り組みやすいという評価の声もあった。今回、実際にアセスメントシートを使用したことで分かった内容の改善点や過不足等に対し、今後さらなる改良を重ね、様々な災害で活用できるシートの完成を目指す。

・短期アウトカム 4 に関する活動

連携団体である JVOAD 避難生活改善に関する専門委員会や、岡山 NPO センターとの打ち合わせを定期的実施し、災害支援ネットワークの形成に向けての計画の共有や実施に向けて議論を重ねている。また、2021 年 8 月豪雨災害を機に佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）とも今後継続的に情報共有会議や平時から取り組み、自治体等も含めさらなる関係構築を図っていく。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

・打合せ等はすべてオンラインで実施

・被災地等での避難所運営に関する活動については、現地へ入る出発前に PCR 検査にて陰性を確認してから移動。その他、マスクの着用や手指消毒、換気等の感染予防対策を実施。職員においては日々の体調確認と行動記録を取り、万が一に備え早期対応に繋がるよう取り組んでいる。

③広報に関する報告

シンボルマークの使用状況
<input type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input type="checkbox"/> 報告書に表示している <input type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input checked="" type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：Facebook 等 SNS の情報発信時に表示している
広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） 2021年 ・6月27日 山陽新聞：2020年7月豪雨 熊本県球磨村のコロナ禍での避難所運営についての活動紹介 ・6月29日 愛媛新聞：2020年7月豪雨 熊本県球磨村のコロナ禍での避難所運営についての活動紹介 ・6月30日 埼玉新聞、長崎新聞：2020年7月豪雨 熊本県球磨村のコロナ禍での避難所運営についての活動紹介 ・7月3日 神奈川新聞、宮崎日日新聞、高知新聞：2020年7月豪雨 熊本県球磨村のコロナ禍での避難所運営についての活動紹介 ・7月6日 山形新聞：2020年7月豪雨 熊本県球磨村のコロナ禍での避難所運営についての活動紹介 ・7月11日 西日本新聞：2020年7月豪雨 熊本県球磨村のコロナ禍での避難所運営についての活動紹介 ・9月10日 佐賀新聞：令和3年8月豪雨災害 佐賀県大町町の避難生活、被災者支援に係るCSO連携に関しての取り組み ・12月11日 J-CAST ニュース：中長期化する避難所を取り巻く課題や困難を紹介 ・12月12日 岡田まちづくり推進協議会：2018年西日本豪雨で被災した岡山県倉敷市真備町の岡田地区まちづくり推進協議会が作成した、災害発生から今日に至るまでの復旧・復興への歩みについてまとめた災害検証冊子「岡田を災害に強いまちに その② 生きる 水害編」にて現地にて長期に亘り避難所運営や炊き出し支援などを実施したことが紹介された。 ・1月11日 J-CAST トренд：2021年8月豪雨 在宅避難に関して、佐賀県大町町における行政とNPOとの協働・連携について紹介 ・1月26日 日本経済新聞：避難生活に備えた備蓄品や避難生活中に気を付けたいポイントを紹介 ・3月8日 朝日新聞：2020年7月豪雨 熊本県球磨村のコロナ禍での避難所運営委託事業についての紹介

2.広報制作物等

PBV 公式ブログ

2021 年

・ 9 月 11 日 「【2021 年 8 月豪雨災害・佐賀】 現地レポート：内閣府防災×JVOAD 避難所の環境改善アセスメント実施、改善のサポート」

<https://pbv.or.jp/blog/?p=27863>

・ 10 月 1 日 「【2021 年 7 月 熱海市土砂災害】 避難所支援調整・移行期課題への取り組みのサポート」

<https://pbv.or.jp/blog/?p=28074>

・ 12 月 23 日 「【2021 年 PBV 活動報告会】 ご参加ありがとうございました！」

<https://pbv.or.jp/blog/?p=28631>

PBV 公式 facebook

2021 年

・ 6 月 15 日 「避難所運営の人材育成と支援調整のための全国ネットワークを形成する」事業が採択されました！」

<https://www.facebook.com/PBVsaigai/posts/5704765469597841>

・ 8 月 31 日 「【2021 年 8 月豪雨災害・佐賀大町町】 内閣府防災×JVOAD 避難所の環境改善アセスメントを実施中」

<https://www.facebook.com/PBVsaigai/posts/6076043722470012>

・ 9 月 11 日 「【2021 年 8 月豪雨災害・佐賀】 内閣府防災×JVOAD 避難所の環境改善アセスメント報告、改善のサポート」

<https://www.facebook.com/PBVsaigai/posts/6135518663189184>

・ 10 月 16 日 「2021 年 8 月豪雨佐賀・現地レポート【ともに過ごした避難所の最後の夜 ～みんなで笑って～】

<https://www.facebook.com/PBVsaigai/posts/6325591974181851>

2022 年

・ 2 月 28 日 休眠預金等活用事業実施の様子を報告

<https://www.facebook.com/PBVsaigai/posts/7131846280223079>

・ 3 月 10 日 「\メディア掲載情報 朝日新聞／ 避難所運営に民のノウハウ」

<https://www.facebook.com/PBVsaigai/posts/7178561945551512>

3.報告書等

特になし

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

2021年

- ・12月21日 2021年PBV活動報告会

2021年の災害支援活動を振り返る報告会を実施。避難所運営支援活動や本事業について紹介、報告した。

https://pbv.or.jp/workshop/20211221_event

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。

完了 整備中

2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input checked="" type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input checked="" type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料 活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）

(1) 避難所の課題整理に関する打合せの様子



(2) 2021年8月豪雨災害にて佐賀県で実施した避難所の環境アセスメントの様子



(3) 避難所の環境アセスメントの結果を自治体へ報告



(4) 避難所の環境アセスメントの結果を受けた環境改善

